この資料は、厚生労働委員会（2013 年 6 月 12 日）での質問のために、公的資料を集め、横路事務所が作成したものです。

国連拷問等禁止条約委員会は2013年5月31日、日本政府の定期報告書の審査を受けて以下を勧告した。

- 強制入院に法的コントロールを、有効な不服申し立てメカニズムを
- 地域サービスの充実で入院患者を減らすこと
- 身体拘束や保護室への隔離を減らすこと、期間も最小とすること
- 強制入院や行動制限による被害者に対して救済と賠償を
- 独立した監視機関による精神病院の定期的監視を

など

(1かも病院に下って違うけれども入れ意とはずされ。)

1. 精神病院における死亡者に関するデータについて

2010年6月(1か月)で1,635人

入院日数

| | |
|---|---|
| 3か月未満 | 420人 |
| 3か月以上～1年未満 | 399人 |
| 1年以上～5年未満 | 509人 |
| 5年以上～10年未満 | 152人 |
| 10年以上～20年未満 | 99人 |
| 20年以上 | 56人 |

2. 日本における入院患者数の実態（精神病院）

1）精神病床数

344,047床(平成23年医療施設調査)

平均在院日数
日本 300日
日本を除くと平均18日

2）隔離されている患者数 (保護室で)

9,132人(平成22年6月30日現在 精神・障害保健課調べ)

3）身体拘束されている患者数

8,930人(平成22年6月30日現在 精神・障害保健課調べ)

4）精神科病院での死亡者数・退院者数

死亡者数 1,635人(平成22年6月(1か月) 精神・障害保健課調べ)

退院者数(死亡者数を含めず) 29,887人(平成22年6月(1か月) 精神障害保健課調べ)

5）10年以上20年未満、20年以上入院している患者数

10年以上 約6.5万人(平成23年患者調査)

10年以上20年未満 35,954人(平成22年6月現在 精神・障害保健課調べ)

20年以上 36,584人(平成22年6月30日現在 精神・障害保健課調べ)

約79000人

6）社会的入院について（7万人）

1）社会的入院と認定している要素

社会的入院としてい認定は行っていないが、患者調査において関連する指標として「受け入れ条件が整えば退院可能な者」の数を把握している。

なお、同指標は平成14年患者調査で6.9万人であったが、平成23年では5.0万人となっている。

2）入院期間（平成２３年患者調査）

| | 受け入れ条件が整えば退院可能（単位：千人） |
|---|---|
| 総数 | 50.1 |
| 3か月未満 | 9.6 |
| 3か月以上～1年未満 | 10.0 |
| 1年以上～5年未満 | 15.3 |
| 5年以上～10年未満 | 6.0 |
| 10年以上 | 9.1 |
| 不詳 | 0.1 |

3）年代（平成２３年患者調査）

| | 受け入れ条件が整えば退院可能（単位：千人） |
|---|---|
| 総数 | 50.1 |
| 20歳未満 | 0.3 |
| 20歳以上～40歳未満 | 4.3 |
| 40歳以上～65歳未満 | 18.9 |
| 65歳以上～75歳未満 | 11.0 |
| 75歳以上 | 15.4 |
| 不詳 | 0.1 |

3. 精神病院への新規入院患者（平成 21 年 39 万 7 千人）の退院について

| | |
|---|---|
| 3 か月で退院 | 23 万 4 千人 |
| 3 か月～11 か月で退院 | 11 万 5 千人 |
| 1 年以上 | 4 万 8 千人 |

4. 精神保健医療福祉体系の再編の達成目標に対しての状況

1) 各都道府県の平均残存率（1 年未満群）を 24％以下とする。

達成都道府県数　3 県／47 都道府県（平成 22 年 6 月 30 日　精神・障害保健課調べ）

2) 各都道府県の退院率（1 年以上群）を 29％以上とする。

達成都道府県数　7 件／47 都道府県（平成 22 年 6 月 30 日　精神・障害保健課調べ）

5. 閉鎖病棟への任意入院患者の収容実態

28,967 人（平成 22 年 6 月 30 日現在　精神・障害保健課調べ）

任意入院者　　終日閉鎖　　40.7％

医療保護入院者　終日閉鎖　　71.0％

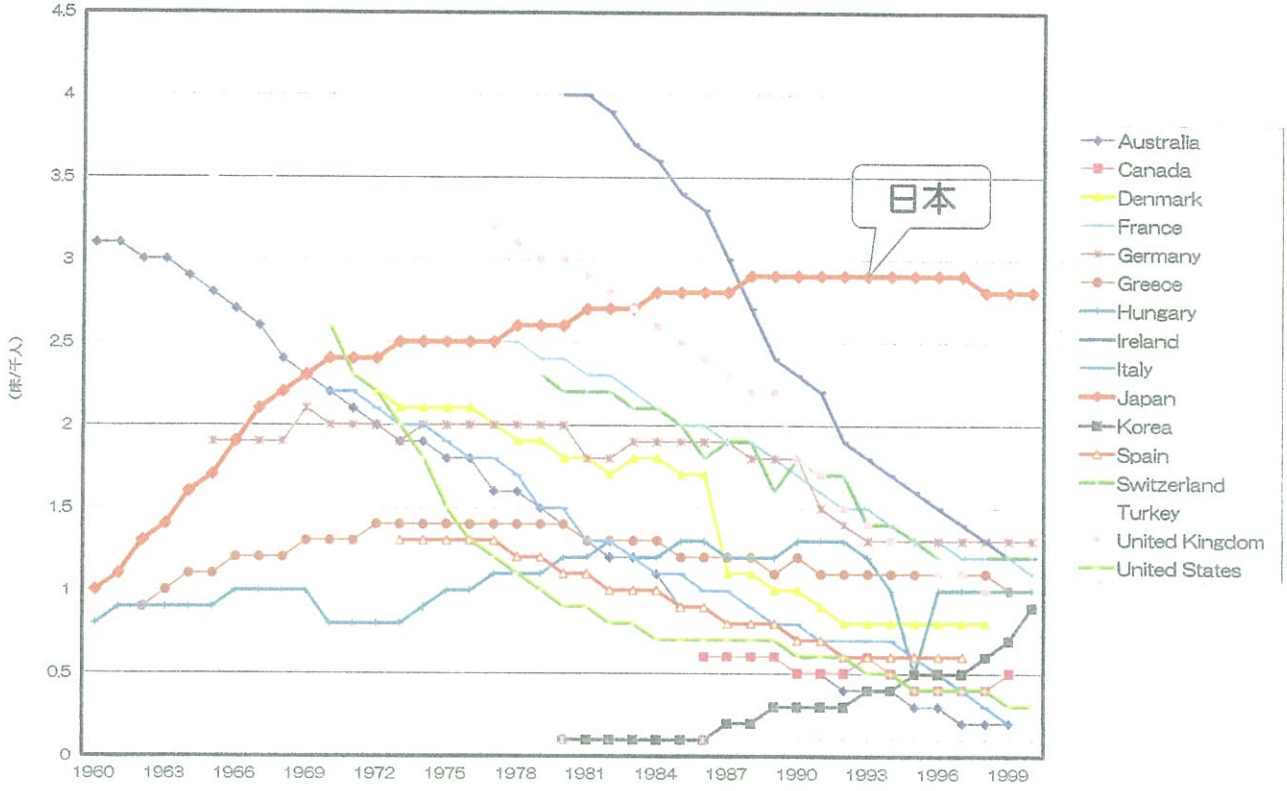
6. 電気ショック件数

精神科電気痙攣療法1（マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔）761 件

精神科電気痙攣療法2（上記以外）　383 件

（平成 23 年社会医療診療行為別調査　平成 23 年 6 月審査）

# 病床数（諸外国との比較）




資料：OECD Health Data 2002 （1999年以前のデータ）
OECD Health Data 2007 （2000年以降のデータ）



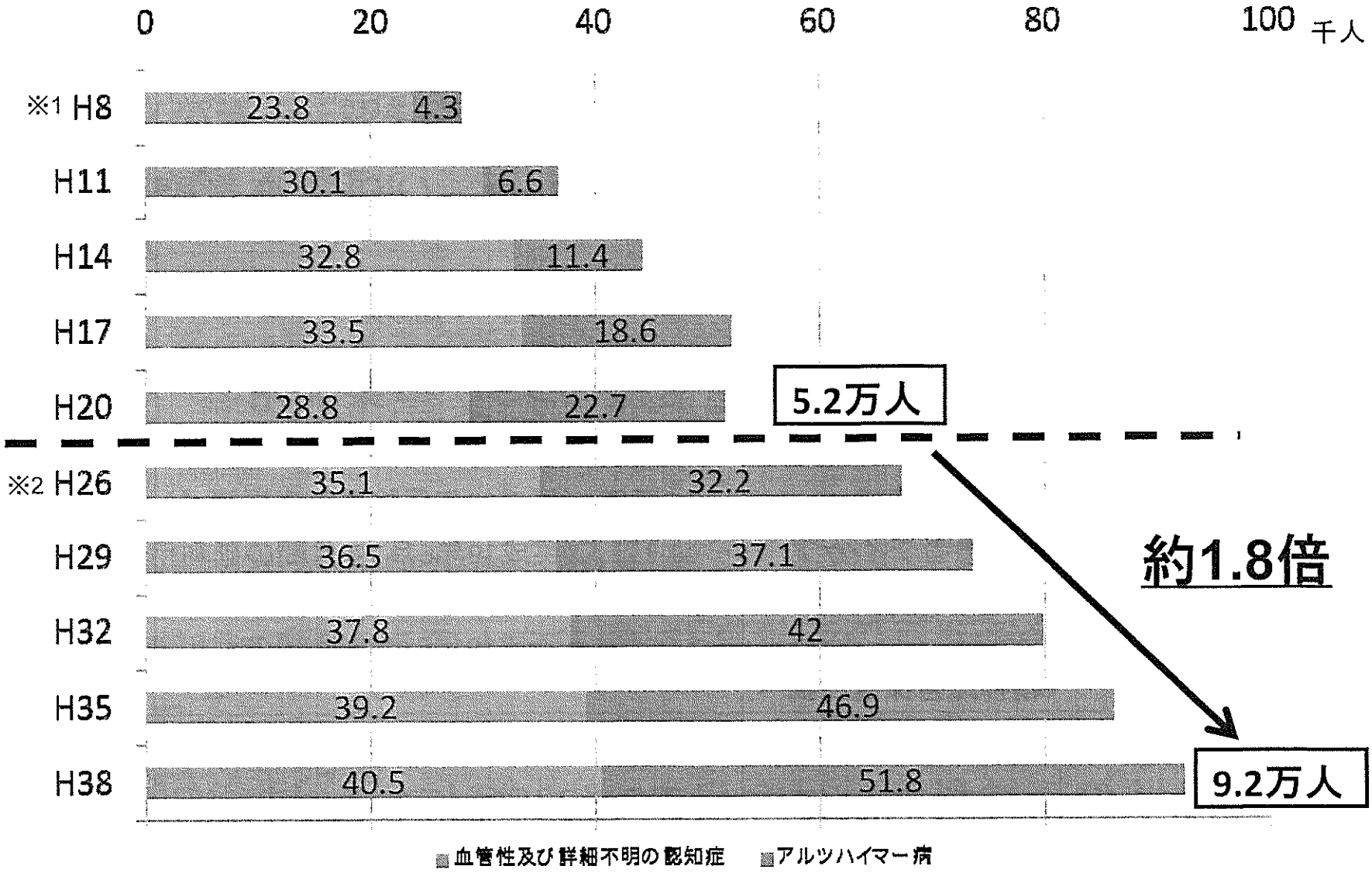
# 精神科医療提供体制の国際比較

**日本は精神病床が多く、精神科医の割合が少ない**

| | 精神病床 人口万対 | 精神科病院以外の精神病床割合 (%) | 精神科医 | | 精神科看護師 | | *精神科ソーシャルワーカー** | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 人口10万対数 | 1人当たりの病床数 | 人口10万対数 | 1人当たりの病床数 | *人口10万対数* | *1人当たりの病床数* |
| 日本 | **28.4** | **27.5** | **9.4** | **30.2** | **59.0** | **4.8** | *5.0* | *56.8* |
| アメリカ | **7.7** | **59.7** | **13.7** | **5.6** | **6.5** | **11.8** | *33.6* | *2.8* |
| イギリス | **5.8** | **-** | **11.0** | **5.3** | **104** | **0.6** | *58.0* | *1.0* |
| イタリア | **4.6** | **100** | **9.8** | **4.7** | **32.9** | **1.4** | *2.7* | *6.3* |
| カナダ | **19.3** | **53.0** | **12.0** | **16.1** | **44.0** | **4.4** | **-** | **-** |
| ドイツ | **7.5** | **40.0** | **11.8** | **6.4** | **52.0** | **1.4** | **-** | **-** |
| フランス | **12.0** | **41.7** | **22.0** | **5.5** | **98.0** | **1.2** | **-** | **-** |
| *ロシア** | *11.8* | **-** | *11.0* | *10.7* | *54.0* | *2.2* | *0.6* | *196.7* |
| オーストラリア | **3.9** | **69.2** | **14.0** | **2.8** | **53.0** | **0.7** | **-** | **-** |
| 韓国 | **13.8** | **54.4** | **3.5** | **39.4** | **10.1** | **13.7** | **-** | **-** |
| 中国 | **1.1** | **17.9** | **1.3** | **8.5** | **2.0** | **5.5** | **-** | **-** |

資料：Jacob KS, et al. Lancet 370: 1061-1077, 2007.
*ロシアおよび精神科ソーシャルワーカの数値（斜字）：Atlas country profiles on mental health resources, WHO, 2001

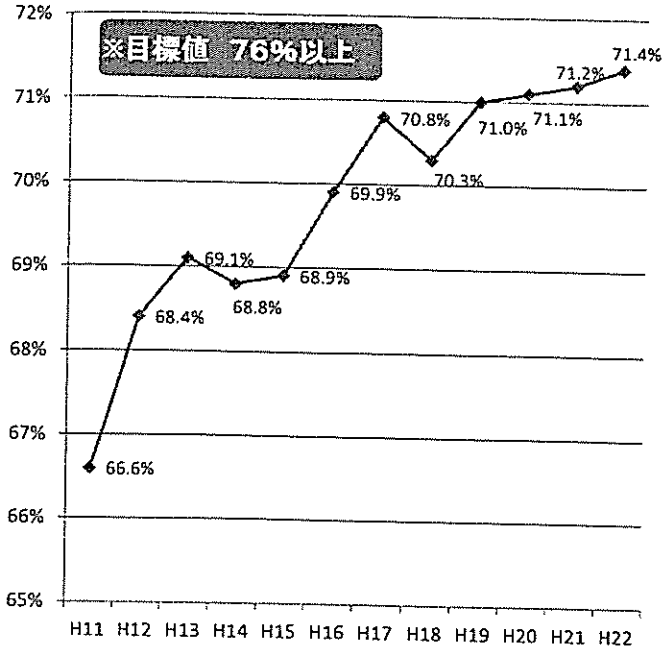
# 認知症入院患者(精神病床)の推計




※1 各年の患者調査(H8～20年)
※2 H8～20年の患者数から、近似曲線を導きその近似値(増加率)を用いてH26年以降の患者数を推計

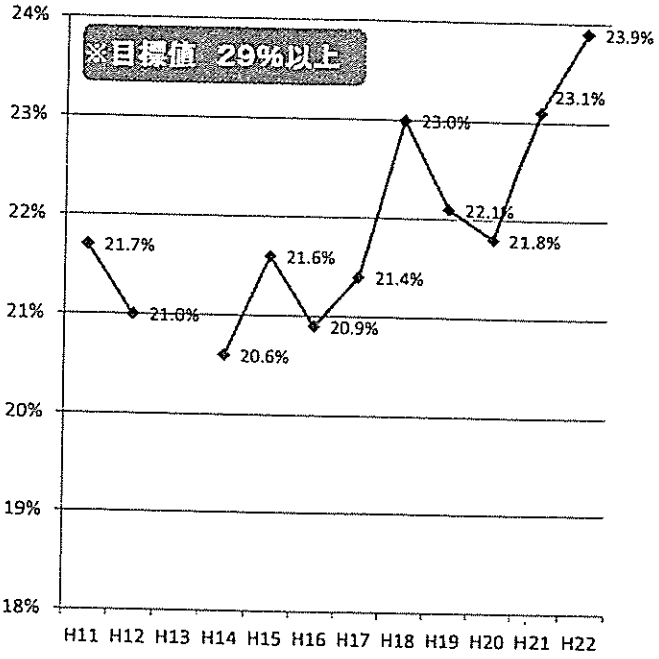
# 精神病床の退院率の年次推移

## 入院1年未満の患者の退院率




※平成16年の「改革ビジョン」における目標値

## 入院1年以上の患者の退院率

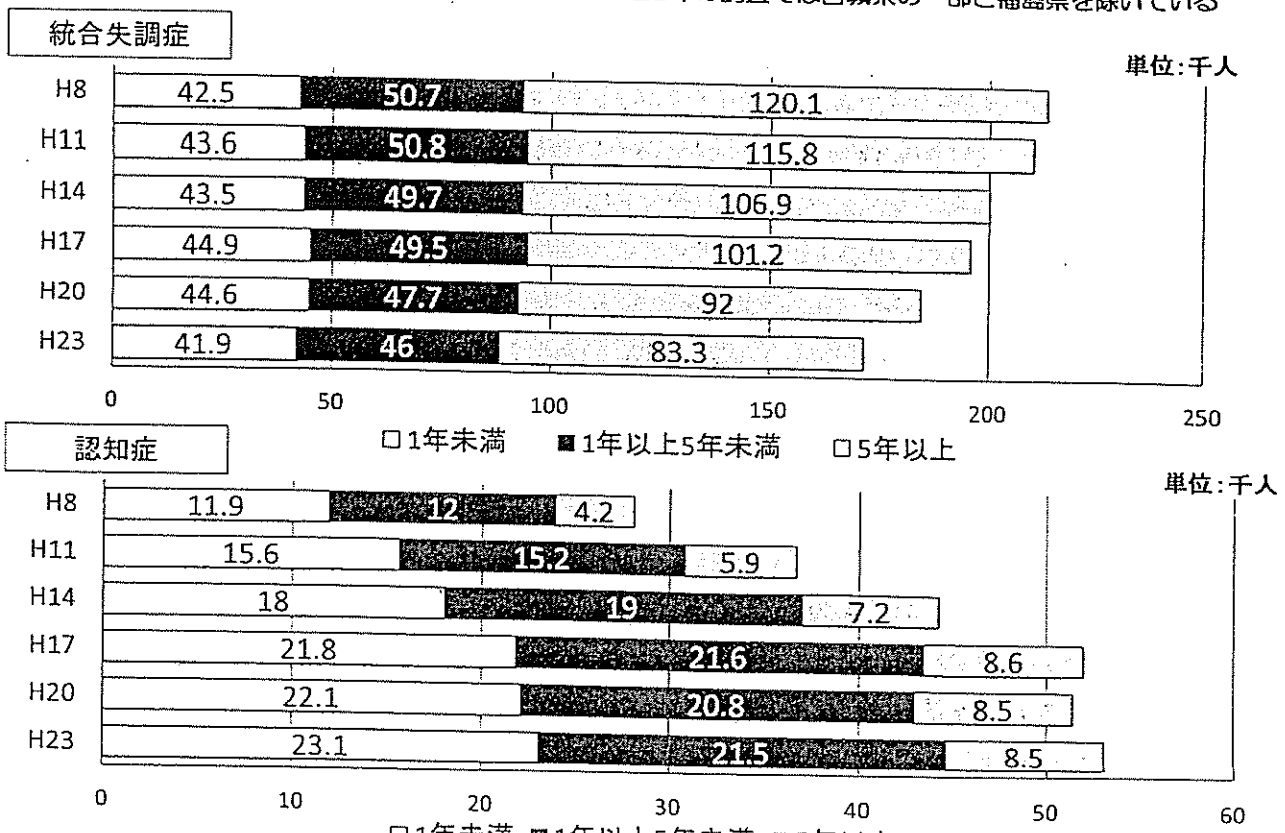



注：平成13年のデータの欠落は、調査方法の変更によるもの（毎年の調査において、H13までは前年のデータを収集していたものを、H14年から当該年のデータを収集するよう変更したため）

（精神・障害保健課調べ）

## 在院日数別年次推移（精神病床）

※H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いている




資料：患者調査